

ペアレントトレーニング研修

特定非営利活動法人 ジャイフル

〒060-0032 北海道札幌市中央区北2条東9丁目13番14号 三雄マンション201号

助成事業の概要

目的：子ども支援を総合的に行っていくために「保護者支援」という視点が欠かせません。発達障害の子育てに困難さを感じる保護者が、子育ての中で適切に子どもと関わり、子どもが自尊感情を育てるための養育環境をつくる保護者支援のアプローチの理論と実践を学ぶため、「まめの木式（精研式）ペアレントトレーニング」の研修を行います。

時期：2018年4月～2019年2月

内容：児童福祉事業を行っている事業所で、直接支援や相談支援を行っている支援員等を対象として行った。4月～6月、12月は、札幌市自閉症・発達障がい支援センターおがるの職員を講師に招いて、ペアレントトレーニングの前段階にあたる「ペアレント・プログラム」について、理論と実践の研修を行った。2月には、アスペ・エルデの会主催のペアレント・プログラム アドバンストワークショップに当法人の職員が参加した。11月には2日間にわたり、まめの木クリニックの方を講師にお招きし、まめの木式（精研式）ペアレントトレーニングの研修を行った。

事業の成果

研修後の感想では、ペアレントトレーニングを自ら実施している支援員からは、重要なことに改めて気が付けた、自分のやり方で不足していたことがわかった、といった意見が聞かれ、より理解を深めることができました。初めて受講した支援員は、日頃自分が支援にあたる時の関わり方を学べたという意見が多く、自身のスキルアップにつながったようです。

支援の現場では、ペアレントトレーニングに参加できない保護者に対しても、個別の相談の際に、ペアレントプログラム及びペアレントトレーニングで学んだ理論をもとにして、お子さんに対する見方や関わり方を提案することができます。現場で支援にあたる職員も、子どもや利用者の行動に注目するという共通の認識をもって支援にあたることで、一貫した関わりができるようになりました。子どもの行動に対して肯定的な関わりを増やしたり、課題やニーズを客観的に分析して、必要とされている支援を明確にすることにも役立っています。

成果の広報、公表

参加した事業所それぞれ、研修の受講をホームページやお便りなどで公表しています。来年度ペアレントトレーニングを実施する際には、募集案内のお便りに記載してお伝えしていきます。最も重要なことは、学んだ内容を活かして実践することで、保護者の方が「来てよかった」「新たな気

づきがあった」と思って帰って行ってくださることだと思えます。そして、そのことが人づてに伝わっていき、子育てをしている人や支援者のみならず、様々な人々にも興味・関心・理解広がっていくことが願いです。

■ 今後の展開

来年度、研修で学んだことを活かし、当法人で実施してきたペアレントプログラムの内容に改訂を加えて、ペアレントトレーニングを実施します。そして、それらの実践を積み重ね、より良いプログラムをつくっていくことを目指します。また、外部の研修会や勉強会などで実践報告を行い、保護者支援の成果と重要性、今後の課題などを様々な業種の支援機関と共有しあい、各々の機関で研究や実践が進んでいくよう、活動を広げていきたいと考えています。そのほか、子育てに困難を抱えている保護者が孤立しないよう、つながりあえる場を設けたり（保護者懇親会や勉強会）、そういった機会の情報提供を行い、保護者自身が地域とつながりを築いていくことをサポートしていきたいと思えます。